

流行性感冒 (H1N1) 2009 インフルエンザ対策 Panvex ®ワクチン接種案内

重要

この文書の表裏両面をお読みください。

緑色の部分にのみ、記入してください。

接種記録部分を切り離し渡されますので大切に保管してください。

**** 鶏卵に対し強いアレルギー反応がある場合は、ワクチンの接種は避けてください。 ****

新型インフルエンザ (H1N1) 2009 ワクチン

流行性インフルエンザ (H1N1) は、新型のインフルエンザウイルスです。ほとんどの場合症状は軽いのですが、人によりこのインフルエンザは、重篤な合併症の原因や希に死亡に至る場合もあります。このたびのワクチン接種プログラムは、人々を感染から守り、世の中に出回るインフルエンザウイルスを抑制しようとするものです。

接種される H1N1 ワクチンは、CSL (コモンウェルス・シーラム・ラボラトリー社) が過去 40 年にわたり製造している季節型インフルエンザと同じプロセスを使い製造しています。

季節型インフルエンザ用の 1 本毎に薬品が充填されている注射器仕様とは異なり、新型インフルエンザ用 H1N1 ワクチンは小瓶 (バイアル瓶) に詰められています。(幼児用は注射器に薬品が詰められています。)

接種に際しては小瓶から、一人一人用に新しい注射針と注射器に充てんされます。

10 歳未満の幼児は 2 回の接種が必要ですが、10 歳以上の小児および成人の接種は 1 回です。

ワクチンの安全と品質保持のためごく少量の薬剤 ” シオマーサル (Thiomersal) “ を含みます。この薬剤は、小瓶に詰められる試薬には広く加えられており長年の使用で安全性が確認されています。

これまでの臨床治験参加者からも安全が認められました。今後も、安全性の確認と検証作業は継続されます。

ワクチンの副作用について

ワクチンには、ほとんどの場合に微熱、疲労感、筋肉痛、頭痛、注射部位の痛みや発赤が現れることがあります。ふつう、これは短い時間で終わります。

非常に希に、重篤なアレルギー反応であるアナフィラクシスが起きることがあり、意識不明や、手当が遅れると死に至ることもあります。オーストラリアで（の報告）はありませんが、海外でごく希にギランバレー症候群の発症が（100万人に1-2件の割合で）報告されています。

ギランバレー症候群は、神経系の障害で麻痺を起こすことがあります。これとワクチン接種との因果関係は立証されていません。

- * ギラン・バレー症候群（ - しょうこうぐん、Guillain-Barré syndrome）とは、急性・多発性の根神経炎の一つで、主に筋肉を動かす運動神経が障害され、四肢に力が入らなくなる病気。重症の場合、中枢神経障害性の呼吸不全を来し、この場合には一時的に気管切開や人工呼吸器を要するが、予後はそれほど悪くない。日本では特定疾患に認定された指定難病。
出典ウィキペディア（Wikipedia）（亜恵健診）

禁忌

過去に次のような症状が起きた場合 Panvex®H1N1 ワクチンの接種は避けてください。

- ・過去に種類を問わずインフルエンザワクチンでアナフィラクシス*があった。
- ・ワクチンに含まれるどのような成分に起因にかかわらずアナフィラクシスがあった。
- ・鶏卵への強いアレルギーがある。

*アナフィラクシスとは抗原抗体反応に基づく生体反応で全身性の激しい症状を伴う。血圧急降下 じんましん

Panvex®H1N1 ワクチンは、オーストラリア政府により支給されています。

接種後の注意

- ・接種部位に発赤あるいは腫れがでた場合は冷やす。
- ・熱を下げるあるいは不快感の対策には、鎮痛剤を使用する。
- ・熱っぽいときは、医師に相談する。
- ・水分を特に多く摂り、休息する。

- ・重篤あるいは予想外と思われる反応がでた場合は、医師にアドバイスを求める。
- ・過去にワクチンの種類を問わず摂取のあとで何らかの反応や、医療上の手当が必要となった場合には、医師にその事実を伝えてください。

ワクチン接種による副作用

通常

およそ 10 人に一人は、接種部位に痛みや発赤、眠気を催したり、疲労感、筋肉痛、微熱がでることがあります。

極めて稀に

激しいアレルギー反応（アナフィラクシス）がでることがあります。

- * アナフィラクシスとは抗原抗体反応に基づく生体反応で全身性の激しい症状を伴う。 血圧急降下 じんましん (旺恵健診)